

## 「レナリドミドを使用する多発性骨髄腫患者における 抗血栓薬の使用状況調査」について

### ○研究の目的

多発性骨髄腫治療薬であるレナリドミド(販売名：レブラミドカプセル)の使用により血栓症の頻度が高まることが知られています。血栓症を予防する薬剤(抗血栓薬)が予防的に使用されることが多いのですが、どのような患者さんにどの抗血栓薬を用いるのが最適なのかについてはっきりした情報はありません。本研究は血栓症のリスクに応じてどのように抗血栓薬が使用されているかを確認することを目的としています。

### ○研究の方法

広島大学病院にて平成 22 年 1 月～平成 29 年 12 月の期間にレナリドミドを内服していた多発性骨髄腫患者を対象とします。(研究期間：平成 33 年 3 月 31 日まで)

本研究は診療録(カルテ)情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は①患者基本情報(既往歴, 性別, 身長, 体重, 年齢, Performance Status, 病名)②治療内容(投薬歴, がん化学療法歴, 手術歴)③血液検査データ④非血液検査データ⑤画像情報です。個人が特定できる情報は転帰しません。

以下の機関と共同で研究します。(広島赤十字・原爆病院に情報を集め広島赤十字・原爆病院(研究責任者 坂本健一)が解析します)

・広島赤十字・原爆病院

### ○ 試料・情報の管理責任者

広島赤十字・原爆病院薬剤部製剤課 係長 坂本 健一

### ○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

### 不明な点がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

\* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

TEL : 082-257-5596

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰(研究責任者)

薬剤師 村瀬 哲也(研究担当者)